

2022（令和4）年度活動報告

1. 2022年度の社会情勢

2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻は、1年以上たった現在も終わりが見えない状況が続いています。戦争という異常事態がほとんど日常となってしまうことは大変なことです。平和な時代、平和な環境とは何なのか、関心を失わずに常に考えていくことが大切であると感じます。

新型コロナウイルス関連の動きを見ると、第8波が日本中に大きく広がりましたが、これまでのような活動自粛、施設閉鎖ではなく、感染対策を十分にとっての行事開催、旅行などの活動が行われるようになりました。そして、再び感染者が減少してきた今年5月には新型コロナウイルスの扱いが第2種から第5種に変わりました。これまで毎日発表されていた感染者数が週1回の発表になったり、マスク着用等の感染対策が個人や事業者の判断になったりして、インフルエンザと同じ扱いでの対応が行われていくことになります。感染対策は今後も当面の間続いていくでしょうが、概ね、従来通りの日常生活活動が戻ってきていると言えるでしょう。

2. 全国的な運動

・手話言語法・情報コミュニケーション法に関する動きについて

昨年、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案が可決成立しました。特に要望の多い災害時などの緊急時における情報保障については法案成立前から少しずつ技術の進捗がみられています。先日千葉県で発生した地震でもテレビで放送された気象庁の記者会見を手話通訳のワイプ付きで見ることができています。

ただ、各テレビ局、あるいは各自治体からの情報配信について財源などの理由で格差が起きている問題はまだ残っています。

全日本ろうあ連盟と引き続き連携して、障害のあるなし関係なく、誰もがいつでもどこでも同様に、必要な情報を得ることができる社会の実現を目指して取り組んでいきます。

「手話言語法」については現時点では昨年に続いて大きな動きはなく、本県内の手話言語条例に対する取り組みについても新たな情報はありません。新型コロナ禍などでなかなか取り組みが難しい面がありますが、ろう者の方々が手話言語で学び、手話言語で日常生活を送ることができる環境の実現につながるよう、継続して取り組んでいきます。

3. 県内の主な出来事

・宮崎県内の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

宮崎県の新型コロナウイルス感染者は、毎日の発表が終了した5月7日時点で47名でした。感染者が爆発的に増えていた時期と比較すると比較的少ないですが、安心とは言い切れない人数です。利用施設を運営している立場としては、マスク着用は個人の判断としますが、手指消毒、検温等の感染対策は引き続き取り組んでいくこととしています。

2022年度の遠隔手話サービスの利用は16件ありました。新型コロナ感染者が広がった時期に病院に入院したため、手話通訳者が病院に行くことができず、遠隔手話サービスで対応した事例もありました。ただ、医療機関等と連携した、各地区における利用体験会、説明会はまだ実現できていません。新型コロナ感染者が減少しており、緊急度は下がっていますが、第9波が始まることも予想されており、まだ油断できない状況です。

県知事会見の手話通訳については、現在、宮崎県ホームページにおいてライブ配信が行われるようになっており、定例会見は、UDトークの機能を活用した字幕版でも見ることができます。対応を試行しながら、緊急会見、災害時の会見にも広げていく予定とされています。スマートフォンやタブレット、パソコンを通してインターネットを見ることができる人はそれでも良いのですが、インターネットを見ることができない人への情報保障が課題です。テレビ放送での情報保障については、気象庁記者会見の手話通訳など、変わってきた面もありますが、地方テレビ局での対応はまだ遅れています。情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の理念から考えれば、財政理由や居住地域で情報格差が起きることはおかしなことです。引き続き、誰もがいつでもどこでも同様に、必要な情報を得ることができる社会の実現に取り組んでいきます。

4. 県協会の取組み

(1) 第71回全九州ろうあ者大会・第50回全九州手話通訳者研修会に向けた準備

3年以上にわたってコロナ禍による影響が続いてきましたが、ようやく明るい見通しが出てきました。その雰囲気の中で大会に向けた準備が本格化し、現在は共通研修会、各分科会、前夜祭等の各担当に分かれて、各班での準備が始められています。

大会まで半年を切っています。各班の皆さんが自分たちの担当を理解して仕事を進め、何かが起きた時はどうすれば良いのか十分に理解できるように支援していくことが大会成功のポイントとなるでしょう。九州各県の参加者を気持ちよくお迎えすることができるよう、引き続き取り組んでいきます。

(2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた準備

2027（令和5）年に開催される第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向けて「手話・要約筆記ボランティア養成事業」が始まります。2022年度は、その事業実施に向けた各団体との協議、進行計画について協議が行われました。2023年度はボランティア養成に関わる団体との連絡会議、ボランティア養成カリキュラム・テキストの検討、県内実態調査、ボランティア指導者・リーダーの養成、出前講座などが行われ、事業実施に向けた下地作りが中心となって進められることになっています。養成したボランティアが大会のみの活動で終わることなく、今後も様々な場面で活動を続けていただけるよう、企画検討を進めていきます。

(3) 映画「おわりなき聲」上映会の取り組み

2022年10月から2023年2月までの5か月あまり、映画「おわりなき聲」上映会の制作が行われました。ろう者の苦難の歴史、そして聞こえない人と聞こえる人が強くつながっていく様子を映像で伝え、県民の皆さんの豊かなコミュニケーションの充実、そして様々な文化に親しんでいただくことを目的として、県内聴覚障害者・関係者の皆さんが力を合わせて取り組んできました。

県協会が宮崎県ひなたの文化活動推進事業の補助を受けて実施しましたが、実際は監督等の人選、シナリオづくり、撮影作業等が参加者の皆さんによって協議が行われ、チームによる役割分担で行われてきました。

そして3月31日（金）～4月13日（木）の2週間にわたって宮崎キネマ館において上映会が行われ、延べ834名の視聴者がありました。映画の反響が非常に良く、宮崎市だけではなく県内各地でも上映会を実施してほしい、今後も様々な作品を制作してほしいといった意見も多くいただきました。

県協会では、いただいたご意見を元に、今後どのような形で活用していくのか検討を進めていくことにしています。

5. 課題事項について

2022年度は、県協会及びセンターをどのように運営していくのか、会員の皆さんや様々な課題を抱える県内聴覚障害者をどのように支援していくのか、私たちの活動の根幹となる課題について改めて突き付けられた1年となりました。

県内聴覚障害者の想いや願いを実際の活動に反映させるためには、職員のみならず、県内全ての地区協会、会員の皆さんの協力がなければ成り立ちませんが、現在の専門部長体制の人員が不足しており、それが十分に行われているとは言えません。2月25日に県協会の今後を考える会を開催し、各地区協会の代表者が集まってこれらの課題について協議を進めていくことを確認しました。

会員の皆さんの高齢化が進み、人材がますます厳しくなる中で、県立聴覚障害者センターの運営だけではなく、会員の皆さんの要望や課題にどう応えていく体制を作っていくかが問われています。

9月の全九州ろうあ者大会開催に向けた準備もあって容易なことではありませんが、県内全ての地区協会や会員の皆さん、関係者の皆さんと力を合わせていくことを大切に、県内聴覚障害者の皆さんの生活情報支援を行っていくために、引き続き活動の充実に取り組んでいきます。

6. 各専門部事業

2022年度における各専門部事業、県立聴覚障害者センター事業の詳細は後続の報告書のとおりですので、ご検討と意見をお願いします。

2022（令和4）年度 社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 事業報告

総務部

（1）関連組織との連携

全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、各地区協会、各専門部の事業の連絡調整

（2）各種大会及び研修会参加の推進（主な事業）

・第70回全国ろうあ者大会

日 程：2022年6月9日～12日

会 場：広島県広島市

参加者：5名（ろう者4名、聞こえる人1名）

・第70回全九州ろうあ者大会・第49回全九州手話通訳者研修会

日 程：2022年9月2日～4日

会 場：佐賀県佐賀市

参加者：34名（ろう者8名、聞こえる人26名）

（3）全国手話研修センター後援会加入の推進

（4）県協会拡大専門部長オンライン会議の開催

組織部

1、2018年度～2022年度までの県協会会員状況（3月31日時点）

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
193名	185名	117名	105名	107名

（昨年度と比べると2名増加。）

・コロナ禍、高齢化などで退会者があった一方で、再入会もあり、微増となった。

全九州ろうあ者大会等の機会を通して各地区協会、一般会員との意見交換などを積極的に行い、活動への理解普及を働きかけていく。

2、年間三大大行事開催

第70回全国ろうあ者大会と第70回全九州ろうあ者大会は、2021年度は中止となったが2022年度は感染対策を十分に行った上で無事に開催された。

令和4年度九州ブロック幹部研修会は鹿児島県で開催され、1名が参加。

3、映画「咲む」上映会活動の推進

・日向市で2023年3月に上映会を開催。合計5回の開催となった。

・2023年以降は各自治体、学校等での上映会を案内していくことになっている。

体育部

- (1) 第59回全九州ろうあ者スポーツ大会
日程 : 2022年5月21日~22日
開催地 : 長崎県
コロナ禍の中で久しぶりの開催であったが、施設閉鎖等による練習不足で選手が集まらず、宮崎県からの派遣ができなかった。
- (2) 第55回全国ろうあ者体育大会
日程 : 2022年9月15日~18日
開催地 : 北海道
参加者 : 男子バドミントン競技 2名出場
井戸川典夫氏がシングルス1部ベスト4、ダブルス1部ベスト4
東久美子氏が混合ダブルス2部優勝(この時は大阪協会から出場)
- (3) 2022年度九聴連体育委員会会議出席

教育対策部

実施した事業

1. (手話通訳対策部と重なる面があるが) 都城さくら聴覚支援学校の新任者、希望者を対象に毎月一回程度、オンライン手話学習会を実施し、基本的な手話表現について指導を行った。
2. 都城さくら聴覚支援学校生徒による職場体験を1人受け付けた。
期間: 2022年12月5日~6日 高等部2年の生徒
内容: センター見学、県協会の歴史と仕事についての説明後、宮崎市広報手話ビデオ作成に関わる様々な仕事を体験していただいた。

手話通訳対策部

実施した事業

- ① 手話通訳者の養成
 - ・ 県内登録手話通訳者の増加に向けた取り組みの検討
- ② 手話奉仕員・手話通訳者養成講座事業に係る講師の養成
 - ・ 全国や九州の講師研修会等への参加奨励、県内講習会の実施
- ③ 各種研修会への参加奨励の取り組み
 - ・ 第55回全国手話通訳問題研究集会 8月20日~21日 茨城県(オンライン)
 - ・ 第49回全九州手話通訳者研修会 9月3日 佐賀県
 - ・ 九州ブロック現任手話通訳者研修会 中止
 - ・ 九州ブロック手話指導講師養成研修会 2月18日~19日 熊本県

福祉労働対策部

1. 実施した事業

宮崎県に要望書を提出しました。

・第 81 回国民スポーツ大会、第 26 回全国障害者スポーツ大会の開催が県民への手話言語の理解普及・利用の拡大につながるよう、支援をお願いしたほか、オンラインの効果的な活用についても提案、支援依頼を行いました。

2. 成果と課題

会員の高齢化がますます進み、情報・コミュニケーションだけではなく日常生活への支援（買い物、日常生活用具の修理など）が必要となる事例も出てきています。

周囲による支援だけに頼るのではなく、各地区でそういった支援に対応できるような仕組みづくりについて検討を進めなければなりません。

高齢部

新型コロナウイルス感染対策のため会員が集まるのが難しく、事実上休部状況にある。

女性部

休部中。

復活に向けて、会員・非会員への県協会及び女性部の活動啓発を行っていく。

青年部

復活に向けた具体的な活動が開始された。

3月18日に県立聴覚障害者センター・試写室において青年部学習会を開催。九聴連青年部役員をお招きして話をいただいた。

令和4年度県立聴覚障害者センター実績報告

1. センター利用に関する業務

(1) 研修室・試写室・交流ホール・談話室の利用状況

利用者数 4,332人 (前年度同月比 206.4%)

- ① 研修室 1,269人 ② 試写室 640人
 ③ 交流ホール 2,294人 ④ 談話コーナー 129人

(年度利用実績)

月	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計	前年度実績	前年度比較
4月	43	37	54	6	140	213	65.7%
5月	108	69	86	13	276	8	3450.0%
6月	142	66	131	7	346	226	153.1%
7月	123	40	138	6	307	181	169.6%
8月	81	31	222	16	350	51	686.3%
9月	162	22	406	23	613	34	1802.9%
10月	207	112	238	22	579	503	115.1%
11月	55	39	226	8	328	310	105.8%
12月	110	64	274	8	456	219	208.2%
1月	76	48	152	8	284	130	218.5%
2月	81	51	240	9	381	74	514.9%
3月	81	61	127	3	272	150	181.3%
合計	1,269	640	2,294	129	4,332	2,099	206.4%

(昨年度比較)

別表1

(2) センターへの来訪者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来訪者数(人)	109	105	92	98	84	110	71	88	90	65	85	119	1116

※相談、打合せ、報告書提出、書籍等購入等の来所がありました。

(3) センター機器等貸出状況

機器名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
OHC	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
OHC台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	0	3	4	2	0	4	2	1	1	1	2	6	26
接続ケーブル	2	2	1	2	1	4	1	4	2	1	0	0	20
スクリーン	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	4
補聴器	19	0	32	0	0	0	0	10	0	0	11	0	72
携帯磁気ループ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
延長コード	0	0	0	0	0	2	0	3	2	0	0	5	12
HUB	3	1	0	0	0	8	0	2	1	0	0	3	18
LANケーブル	11	4	0	0	0	33	0	10	1	0	0	0	59
貸出用パソコン	7	3	0	1	0	5	0	0	9	5	0	4	34
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	13	37	5	1	63	4	31	16	7	13	18	251

【研修室・試写室・交流ホール・談話コーナーの利用状況 令和3年度との比較】

月	令和4年度	令和3年度	前年度比	令和4年度	令和3年度	前年度比	令和4年度	令和3年度	前年度比	令和4年度	令和3年度	前年度比	令和4年度	前年度実績	前年度比較
	研修室			試写室			交流ホール			談話コーナー			合計		
4月	43	68	63.2%	37	58	63.8%	54	66	81.8%	6	21	28.6%	140	213	65.7%
5月	108	0		69	0		86	0		13	8	162.5%	276	8	3450.0%
6月	142	79	179.7%	66	42	157.1%	131	97	135.1%	7	8	87.5%	346	226	153.1%
7月	123	77	159.7%	40	48	83.3%	138	42	328.6%	6	14	42.9%	307	181	169.6%
8月	81	14	578.6%	31	24	129.2%	222	0		16	13	123.1%	350	51	686.3%
9月	162	29	558.6%	22	1	2200.0%	406	0		23	4	575.0%	613	34	1802.9%
10月	207	257	80.5%	112	47	238.3%	238	187	127.3%	22	12	183.3%	579	503	115.1%
11月	55	86	64.0%	39	72	54.2%	226	142	159.2%	8	10	80.0%	328	310	105.8%
12月	110	84	131.0%	64	38	168.4%	274	96	285.4%	8	1	800.0%	456	219	208.2%
1月	76	50	152.0%	48	27	177.8%	152	46	330.4%	8	7	114.3%	284	130	218.5%
2月	81	23	352.2%	51	11	463.6%	240	37	648.6%	9	3	300.0%	381	74	514.9%
3月	81	51	158.8%	61	27	225.9%	127	65	195.4%	3	7	42.9%	272	150	181.3%
合計	1,269	818	155.1%	640	395	162.0%	2,294	778	294.9%	129	108	119.4%	4,332	2,099	206.4%

2. センターの維持及び保全に関する業務

年度を通じて下記の対応を行いました。

- (1) 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を行いました。
- (2) 毎朝業務確認のための朝礼を行うとともに月曜日に1週間の業務及びセンターの安全の確認のための朝礼を行いました。
- (3) 感染対策 以下の対応を行いました。1) 消毒液を廊下及び各部屋に設置しました。2) 3密を避け、換気を行いました。3) 利用者の検温、4) 手指の消毒、5) 飛沫感染防止パーテーションを設置し、派遣受付や職員間の感染防止対策

(県立聴覚障害者センター利用の満足度調査)

■ 調査期間 8月15日～9月30日

■ 回答数 58人

(その他)

- 外部委託業者による事務所等のワックス清掃(9月7日、2月8日)を行いました。
- 11月28日(月)に消費生活センター、県立聴覚障害者センター、視覚障害者センター合同による避難訓練、AED 蘇生訓練を実施しました。
- 2月22日に生活情報センター、県立聴覚障害者センター、県立視覚障害者センターによる消火訓練、避難訓練を行いました。

3. 県立聴覚障害者センターにおける聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運營業務

(1) 都城さくら聴覚支援学校 Zoom 手話研修会

期 日 5月から2月まで毎月(全10回)

時 間 16:10～16:50

対象者 都城さくら聴覚支援学校職員

実施方法 都城さくら聴覚支援学校律唱室と県立聴覚障害者センターをオンラインで結び実施

8月は堀田理事長と満平職員が出向き実施

(2) 映画「おわりなき聲」制作への協力

10月1日から映画「おわりなき聲」制作に対し企画、運営の協力を行いました。

①映画「おわりなき聲」モニター試写会の実施

期 日 3月19日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者 26名

②映画「おわりなき聲」上映会

期 日 3月31日(金)～4月13日(金)

会 場 宮崎キネマ館

当初3月31日(土)～4月1日(日)の2日間でしたが好評により4月6日(木)までに延長になり、その後さらに4月13日まで再延長になりました。

4. 聴覚障害者用字幕(手話)入りビデオカセットテープ・DVDの製作に関する業務

(1) 聴覚障がい者用字幕(手話)入りDVD等の貸出に関する業務

- ① 貸出利用者数 15人
- ② 貸出本数 35本
- ③ 貸出利用状況

	利用者			本数		
	2022年度	2021年度	前年度比	2022年度	2021年度	前年度比
4月	0	5	0.0%	0	25	0.0%
5月	2	7	28.6%	4	35	11.4%
6月	0	2	0.0%	0	5	0.0%
7月	0	5	0.0%	0	16	0.0%
8月	1	1	100.0%	4	3	133.3%
9月	1	3	33.3%	4	10	40.0%
10月	0	3	0.0%	0	13	0.0%
11月	4	3	133.3%	9	27	33.3%
12月	5	2	250.0%	12	13	92.3%
1月	1	0		1	0	
2月	0	1	0.0%	0	7	0.0%
3月	1	0		1	0	
合計	15	32	46.9%	35	154	22.7%

④ 県立聴覚障害者センター貸出利用状況(利用者数、貸出本数)

	利用者						本数					
	2022年度		2021年度		2021年度比		2022年度		2021年度		2021年度比	
	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者
4月	0	0	5	0	0.0%		0	0	25	0	0.0%	
5月	1	0	0	6		0.0%	2	0	35	34	5.7%	0.0%
6月	0	0	0	2		0.0%	0	0	5	5	0.0%	0.0%
7月	0	0	1	4	0.0%	0.0%	0	0	0	11		0.0%
8月	0	1	0	1		100.0%	0	4	0	3		133.3%
9月	0	1	2	1	0.0%	100.0%	0	4	9	1	0.0%	400.0%
10月	0	0	2	1	0.0%	0.0%	0	0	11	2	0.0%	0.0%
11月	1	3	0	3		100.0%	1	8	0	27		29.6%
12月	3	2	1	1	300.0%	200.0%	4	8	3	10	133.3%	80.0%
1月	1	0	0	0			1	0	0	0		
2月	0	0	0	1		0.0%	0	0	0	2		0.0%
3月	0	1	0	0			0	1	0	0		
合計	6	8	11	20	54.5%	40.0%	8	25	88	95	9.1%	26.3%

5. 手話奉仕員、要約筆記奉仕員等の育成及び派遣に関する業務

【手話通訳者等養成】

県立聴覚障害者センターにおいて養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

- 手話奉仕員養成(入門課程、基礎課程)
修了者 16名
- 手話通訳者養成
修了者 通訳Ⅰ 2名 通訳Ⅱ 2名

【要約筆記者養成】

養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

(1) 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

- 【1】日向会場(手書きコースを実施:後期):日向市障がい者センターあいとぴあ
令和4年4月～令和4年11月 手書きコース 5名

【2】宮崎会場(手書きコース、パソコンコース:前期):県立聴覚障害者センター
令和4年9月～令和5年3月 手書きコース 13名 パソコンコース 16名

【要約筆記者のための研修】

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施しました。

期 日 令和4年5月14日(土)、5月22日(日)、6月5日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 研修室

(2) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
5月14日(土)	共通の講義「要約筆記者講師のあり方」	10名
5月15日(日)	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	6名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	3名

(3) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
9月4日(日)	PCコース:全体投影実技指導	8名
	手書きコース:・ノートテイク実技指導	6名
11月19日(土)	《共通》難聴者が望む要約筆記者像	13名
11月20日(日)	手書きコース:ノートテイクの実技指導	9名
	PCコース:ノートテイクの実技指導	11名

(4) 要約筆記体験会

期 日 令和4年7月16日(土)

会 場 小林市社会福祉センター

参加者 PCコース 10名

期 日 令和4年7月23日(土)

会 場 宮崎県立聴覚障害者センター 交流ホール

参加者 PCコース 8名 手書き 14名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和5年1月29日(日)

会 場 宮崎県立聴覚障害者センター

参加者 PC 3名

【第2回】

期 日 令和5年2月12日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 1名 PC 3名

(6) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和5年2月19日(日)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 受験者 手書き:1名 パソコン:3名
 合格者 手書き:1名 パソコン:0名

(7) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和4年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者 1 名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

6. 聴覚障害者に対する相談業務（相談件数145件）

相談種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	職業	0	0	0	2	0	0	4	1	0	0	2	1	10
2	医療	2	0	2	1	12	10	0	0	1	0	0	2	30
3	年金	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
4	教育	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	5
5	住宅	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	10
6	生活	3	6	4	3	5	8	1	0	4	4	0	4	42
7	人間関係	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	4
8	保育・育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	情報・コミュニケーション	2	3	0	4	2	2	5	3	0	0	1	0	22
10	交通事故等	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	手話通訳者派遣	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
12	要約筆記者派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	法律	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
14	手続き	1	2	0	0	2	0	6	0	0	0	0	0	11
15	その他	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	5
計		11	11	7	12	22	31	17	12	8	4	3	7	145

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経路	来所	3	6	2	3	2	1	2	9	3	2	0	2	35
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TEL	4	4	2	4	5	29	6	1	1	1	1	1	59
	家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	4	1	3	5	15	1	9	2	4	1	2	4	51
計		11	11	7	12	22	31	17	12	8	4	3	7	145

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
聴覚障害者		7	8	5	7	21	1	12	5	5	4	2	5	82
健聴者		4	3	2	5	1	30	5	7	3	0	1	2	63
計		11	11	7	12	22	31	17	12	8	4	3	7	145

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
性別	男	7	1	7	6	19	11	11	6	6	1	1	4	80
	女	4	10	0	6	3	20	6	6	2	3	2	3	65
計		11	11	7	12	22	31	17	12	8	4	3	7	145

7. 聴覚障害者に対する手話講習、技術訓練その他の教養講習の実施に関する業務

(1) 難聴者との手話学習交流会

目的 難聴者が手話を通じて豊かなコミュニケーションが実感できることを目的に学習交流会を実施しました。

① 期 日 11月から毎月だい2、4木曜日 10:30～12:00 に開催

② 会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

③ 参加者 随時難聴者、手話を通じて交流したい人が15名前後参加

今後も難聴者の参加を呼びかけるとともに交流に意欲を持つ支援者も募っていきます。

8. その他知事が必要と認める業務

(1) ホームページ等の運用

ホームページアドレス <http://msen.sakura.ne.jp/index.html> 2001年8月22日開設

11月にアドレス変更 → <https://msen2022.sakura.ne.jp/wp/>

ホームページアクセス数 未確認

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カウント	346	307	247	389	426	524	352	-	-	-	-	-	2591

・主な更新内容

- 手話や要約筆記関係の研修会の案内
- センター利用状況
- センターだより
- 字幕付き映画情報の紹介
- 新着ビデオ情報(ビデオライブラリー)

宮崎県委託事業 聴覚障がい者等福祉推進事業実績報告

1 手話通訳者等養成・指導者研修事業

1. 目的

手話通訳者等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別添1参照

県内の手話通訳者派遣事業の充実につなげるために新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら下記の地域において実施しました。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

(3) 養成時間 120時間

実技編 手話通訳Ⅰ (48時間) 講義編 12時間
手話通訳Ⅱ (45時間)
手話通訳Ⅲ (15時間)

【各種研修会】

■ 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

(1) 手話通訳者養成講師研修会

期 日 令和4年7月10日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(研修室)
参加者数 15名

(2) 現任手話通訳者研修会

宮崎県内で活動中の現任手話通訳者を対象に手話通訳の倫理や手話技術及び技能の向上を目的に研修会を開催しました。

期 日 令和4年11月5日(土)
会 場 県立聴覚障害者センター(試写室)
対象者 宮崎県内で活動中の現任手話通訳者
参加者数 6名

期 日 令和4年11月27日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
対象者 宮崎県内で活動中の現任手話通訳者
参加者数 20名

(3) 登録通訳者研修会

期 日 令和4年8月28日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
対象者 宮崎県内の登録通訳者
参加者数 27名

期 日 令和5年2月5日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
対象者 宮崎県内の登録通訳者
参加者数 17名

(4) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

期 日 令和4年5月29日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
参加者数 8名

期 日 令和4年9月11日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
参加者数 27名

期 日 令和4年11月6日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
参加者数 25名

(5) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和4年12月3日(土)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者数 25名 合格者数 2名

(6) 手話通訳士養成研修会

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、5月と9月に実施した。

期日	内容	参加人数
5月14日(土)	読み取り通訳試験対策①	7名
5月15日(日)	聞き取り通訳試験対策①	5名
9月17日(土)	読み取り通訳試験対策②	7名
9月25日(日)	聞き取り通訳試験対策②	3名

(7) 手話通訳士試験

第33回(令和4年度)手話通訳技能認定試験 試験結果(令和5年1月31日発表)
宮崎県受験者 5人 合格者はいませんでした。
宮崎県手話通訳士数 30名(令和5年3月31日現在)

(8) ろう講師研修会

期 日 令和5年2月26日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
受験者数 10名

【宮崎県手話通訳者養成講座実績】 別表1

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数		
				通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
延岡市	延岡 社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	22	7	10
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
高千穂町	高千穂町中央公民館	毎週水曜日	20:00-22:00	3		
		4月～3月	通訳Ⅰ			
日向市	日向市 総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	2	2	
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ			
西都市	西都市公民館	毎週金曜日	19:30-21:00	3		
		6月～3月	通訳Ⅰ			
宮崎市	県立聴覚障害者センター	毎週月曜日	13:30-15:30	2	2	
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
	宮崎市総合福祉保健センター	毎週月曜日	19:00-21:00	2	2	
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ			
都城市	都城市 総合社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-21:00	4	3	4
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
小林市	小林 社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00	5	3	
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ			
合 計				43	19	14

2 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上
 必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）
 選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

【1】日向会場（手書きコースを実施：後期）

会場：日向市障がい者センターあいとびあ

期間：令和4年4月～令和4年11月

【2】宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：前期）

会場：県立聴覚障害者センター

時間：令和4年9月～令和5年3月

【受講・修了状況】

地域	コース	受講者	修了者
日向	手書き	5	5
	パソコン	0	0
宮崎（県のみ）	手書き	4	0
	パソコン	7	0

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施した。

期 日 令和4年5月14日（土）、5月22日（日）、6月5日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター 研修室

(2) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
5月14日（土）	共通の講義「要約筆記者講師のあり方」	10名
5月15日（日）	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	6名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	3名

(3) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
9月 4日(日)	PCコース：全体投影実技指導	8名
	手書きコース：・ノートテイク実技指導	6名
11月19日(土)	《共通》難聴者が望む要約筆記者像	13名
11月20日(日)	手書きコース：ノートテイクの実技指導	9名
	PCコース：ノートテイクの実技指導	11名

(4) 要約筆記体験会

期 日 令和4年7月16日(土)
会 場 小林市社会福祉センター
参加者 PCコース 10名

期 日 令和4年7月23日(土)
会 場 宮崎県立聴覚障害者センター 交流ホール
参加者 PCコース 8名 手書き 14名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和5年1月29日(日)
会 場 宮崎県立聴覚障害者センター
参加者 PC 3名

【第2回】

期 日 令和5年2月12日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 1名 PC 3名

(6) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和5年2月19日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者 手書き：1名 パソコン：3名
合格者 手書き：1名 パソコン：0名

(7) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和4年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者1名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

3 手話通訳者等派遣事業

事業所等が主催する行事に配置する手話通訳者等の派遣を実施しました。

No.	担当課	催事内容	人数	備考
1	総合政策課	九州各県知事及び経済界の代表者等による 会議の記者会見（第159回九州地方知事 会議・第41回九州地域戦略会議5月31日）	2	手話通訳者2名
2	総合政策課	九州各県知事及び経済界の代表者等による 会議の記者会見（第159回九州地方知事会 議・第41回九州地域戦略会議 6月1日）	2	手話通訳者2名
3	スポーツ振興課	令和4年度みやざき県民総合スポーツ祭 総合開会式	2	手話通訳者2名
4	義務教育課	令和4年度 小・中学校外国語教育研修	2	手話通訳者2名
5	雇用労働政策課	第60回技能五輪全国大会及び第42回全 国障害者技能競技大会 選手激励式	2	手話通訳者2名
6	福祉保健課	令和4年度宮崎県社会福祉大会	3	手話通訳者3名
7	生涯学習課	第7回宮崎県生涯学習実践研究交流会	2	手話通訳者2名
8	生涯学習課	令和4年度「共に学び、生きる共生社会コ ンファレンス」ひなたのつどい	3	手話通訳者3名
9	国スポ・障スポ 準備課	国スポ・障スポ開催に向けた陸上競技場、 体育館及びプール整備状況に係る意見交換	2	手話通訳者2名
合 計			20名	

4 手話通訳者及び要約筆記者の健康に関する相談対応事業

1. 目的

本県の聴覚障害者の社会参加を支える手話通訳者・要約筆記者の健康と安全を確保することを目的に下記の事業を行いました。

2. 事業内容

(1) 手話通訳者・要約筆記者に対する特殊検診実施

① 受診状況

検診日	曜日	手話通訳者	要約筆記者	受診者数
3月21日	火曜日 春分の日	7	1	8

② 特殊検診医師

獅子目整形外科 獅子目亨医師

(2) 手話通訳者・要約筆記者 健康調査の実施

年間の派遣実績が多い手話通訳、要約筆記者35名に対し健康調査を行い、19名から回答があり、そのうち8名に対し特殊検診実施の通知を行いました。

(3) 特殊検診実施の概要

① 健康維持に対する意識

概ね日常の健康維持に対する意識が高いことが分かりました。通訳等の活動以外の活動も派遣活動に影響を及ぼすことを考慮して運動や睡眠など注意を払っていることがわかりました。

② 特殊検診に対する期待

日頃健康状態について話す機会がない手話通訳者、要約筆記者にとって特殊検診実施は実績のあるなしに関わらず貴重であることが分かりました。

(4) 医療機関との連携

効果的な特殊検診実施に向けて医療機関（獅子目整形外科 獅子目亨医師）とメールおよび文書にて効果的な特殊検診実施のために下記の情報提供を行いました。

(打合せ内容)

- 1) 要検診対象者の振り分け基準
- 2) 特殊検診実施内容
- 3) 検診日時

手話通訳設置事業報告書

1. 目的

身体障がい者福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳者を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もってその福祉の増進を図ることを目的として手話通訳設置事業を実施しました。

2. 実施の方法

専任者を採用し、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会事務所に常駐させ、下記の内容の業務に当たりました。

3. 業務内容は次のとおり。

- (1) 県関係の手話通訳全般
- (2) 意志疎通支援事業の推進と指導
- (3) 関係機関・聴覚障がい者等からの依頼に応える手話通訳および手話通訳者
- (4) 手話関係事業の事務整理・連絡
- (5) 聴覚障がい者等の支援等についての相談等を関係機関に伝達するための仲介
- (6) 民生員、医療機関等、日常生活における相談、支援等を行う機関からの依頼に応える手話通訳
- (7) 遠隔手話サービスの利用促進に向けた普及啓発

4. 通訳実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
2 手続き	0	1	2	1	0	2	0	0	2	1	1	1	11
3 縁談・結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 家族関係	0	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	2	10
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 住宅・住居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 保健・医療	0	2	2	1	0	0	1	0	1	2	0	0	9
9 集会	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	1	6
10 選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 裁判	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 会議	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
14 講習会	3	1	6	3	3	3	6	6	3	4	5	6	49
15 その他	6	0	1	0	3	2	2	0	5	5	3	4	31
計	9	5	12	8	11	8	12	9	11	12	9	14	120

5. 遠隔手話サービス利用状況

	月	利用件数	派遣先	目的
1	4月	2	病院	発熱外来
2			病院	発熱
3	8月	6	病院	入院
4			病院	感染疑い
5			病院	入院
6			病院	入院患者と病院スタッフのコミュニケーション
7			病院	入院中の家族との面談
8			病院	コロナ感染看護師とのコミュニケーション
9	9月	1	病院	コロナ感染
10	11月	1	病院	発熱
11	12月	4	聴覚障がい者宅	安否確認
12				安否確認
13				安否確認
14				安否確認
15	2月	1		安否確認
合計		15		

盲ろう者向け通訳・介助員養成・指導者研修事業実績報告

1. 盲ろう者向け通訳、介助員養成講座

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムをもとに本県の盲ろう者の社会参加促進のための効果的な事業を下記のとおり実施しました。

(1) 宮崎会場

- ①日 付 令和4年12月11日(日)、12月25日(日)、1月8日(日)、
令和5年1月15日(日)、1月29日(日)
- ②会 場 県立聴覚障害センター 交流ホール
- ③修了者 4名

(2) 都城会場

- ①日 付 令和5年2月19日(日)、2月26日(日)、3月5日(日)、
3月12日(日)、3月19日(日)
- ②会 場 都城市総合社会福祉センター 研修室
- ③修了者 4名

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら一堂に会し平成28年以来2回目の講座を実施しました。

養成講座修了者の派遣登録へつなげるため、過去の修了者へも案内し、3名が聴講しました。(上記修了者数には含みません。)

今後も過年度修了者への案内を行い、派遣登録につなげることにより盲ろう者の社会参加促進につなげます。

2. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者推薦

Web会議サービス「Zoom」を利用したオンライン研修として実施された。

- (1) 日 程：令和5年1月21日(土) 1月28日(土)
2月11日(土) 3月4日(土)
- (2) 場 所：県立聴覚障害者センターにて受講
- (3) 受講者：吉岡亜紀子職員

3. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座修了者に対するアンケート

平成 26 年度から県協会は県から盲ろう者向け通訳、介助員養成事業を委託を受け盲ろう者支援の人材養成を行っています。しかし、講座修了者が県盲ろう者友の会が実施する派遣事業に全てが登録しておらず、今後の盲ろう者支援を考えると良い状況ではありません。そこで、過年度修了者対象のアンケートを実施しました。

(平成 26 年度～令和 4 年度) 過年度修了者数 81 名
 回答者数 29 名
 回答率 35.8%

1. 盲ろう者向け通訳、介助員派遣事業に登録していますか。

ア. 登録しています。	44.8%
イ. 登録していません	41.4%
ウ. 検討中	6.9%

登録者と未登録者がほぼ同数であった。
 登録者の活動実態と未登録者のしない理由への対応が必要
 検討中が 6.9%はその原因である盲ろう者との実践や登録方法の情報提供が必要である。

2. 登録していない理由は何ですか。

ア. 自信がないから	20.7%
イ. 登録の方法（申込先）がわからないから	6.9%
ウ. 活動の内容がわからないから	6.9%
エ. もっと盲ろう者向け通訳、介助員としての知識、技術を身につけてから登録したい	10.3%
オ. 実践的な学習を経てから登録したい	17.2%
カ. 盲ろう者との交流を経てから登録したい	6.9%
キ. 身近に盲ろう者がいないから	3.4%

県立聴覚障害者センター1 カ所が良いの回答は 6.9%であった。
 回答者の居住地が宮崎市以外者が少ないことも影響していると考えられる。
 盲ろう者向け通訳、介助員養成講座は毎年度 1 会場のみで実施してきた。イ～エの回答から県内各地で開催を望んでいることがわかる。

3. 実施方法

ア. 各市町村で体験講座を実施してほしい	51.7%
イ. オンライン体験講座を実施してほしい	6.9%
ウ. 盲ろう者との交流の場を設けてほしい	44.8%
エ. 講座時間、回数を増やしてほしい	10.3%
オ. オンデマンド学習ができると良い	13.8%
カ. Youtube 配信を実施してほしい	10.3%

講座実施方法は市町村開催希望が 51.7%であった。
 対面方式講座だけでなくオンライン、オンデマンド学習、Youtube 配信など学習方式の研究が必要である。

4. 盲ろう者向け通訳、介助員への情報提供

ア. ホームページで情報提供をしてほしい	44.8%
イ. SNS を活用した情報提供をしてほしい	24.1%
ウ. 盲ろう者との交流の機会を提供してほしい	48.3%
エ. 盲ろう者向け通訳、介助員養成講座の指導者養成講座を実施してほしい	17.2%
オ. その他 ()	3.4%

ホームページや SNS などの情報発信に対するニーズが高い。
 盲ろう者との交流の機会に対するニーズも約半数あった。
 盲ろう者に関わる情報と盲ろう者との直接的な関わりに対するニーズが高いことが分かった。

5. 県民に対する情報発信

ア. 盲ろう者の実態調査の実施をもとにした情報提供	48.3%
イ. 県民を対象にした盲ろう者向け通訳、介助員体験講座の実施	27.6%
ウ. 市町村に対する盲ろう者の実態調査の実施	48.3%

約半数が本県盲ろう者実態把握の必要性と回答している。
 県民が盲ろう者に関わる情報に接する重要性について 27.6%回答している。

令和4年度 県立高等学校生活支援員配置事業 実績報告

1. 目的

県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒が、教育課程を円滑に履修できるように必要に応じて支援を行う生活支援員を配置し、教育の機会均等を保障する。

2. 業務委託先契約先並びに対象者（聴覚に障がいのある生徒）

- ・宮崎県立宮崎大宮高等学校 1名（3年生）
- ・宮崎県立妻高等学校 1名（1年生）

3. 支援実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
宮崎大宮	人員	6	6	7	6	6	7	7	6	6	6	5	4	72
	日数	13	15	11	15	6	13	16	15	17	13	14	2	150
	時間	59.5	88.75	65	76.5	23	73.75	85.25	83.75	80	29.5	24.75	8	697.75
妻	人員	5	5	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	69
	日数	15	16	20	14	14	19	17	14	17	16	13	10	185
	時間	71	69.25	98	68.5	35.25	81	74.5	61.5	76.5	77.75	54.75	42.75	810.75

年間支援限度時間：900時間

宮崎大宮高校では、6～7名の支援員をメインに1日2名～3名の支援員配置で1名が3限～5限を担当した。

妻高校では、6名の支援員をメインに1日2名の支援員配置で1名が2限～4限を担当した。関係者会議も支援に含めていただいた。

4. 関係者会議

- ・宮崎大宮高校 1回（令和5年3月23日）
- ・妻高校 7回（令和4年4月4日、7日、8日、11日、7月25日、8月8日、3月22日）

コロナ禍でしたが先生方との顔合わせの時間を設けていただき、支援員の役割を説明することができた。特に新規の妻高校は、関係者会議を複数回開催していただいた。また、コロナ禍の時期はオンライン形式で実施していただいた。

令和4年度宮崎市 情報保障・コミュニケーション支援事業報告

1 宮崎市手話通訳者・要約筆記者派遣事業

【手話通訳者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において手話通訳を必要とする際に、手話通訳者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として手話通訳者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者研修会

期 日 2022（令和4）年8月28日（日）10：00～15：00

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「聴覚障がい者と共に通訳場面を考える」

参加者 19名

3. 登録手話通訳者・要約筆記者学習会

期 日 2023（令和5）年2月5日（日）10：00～12：30

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「コロナ禍の手話通訳者、要約筆記者の現状と課題、その対策」

参加者 13名

4. 運営委員会

期 日 2022（令和4）年7月1日（金）18：30～

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 令和3年度活動報告・収支決算について
令和4年度活動計画・収支予算について

出席者 16名

5. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	58	55	55	49	54	50	53	60	79	46	61	69	689	57.4
通訳者	16	17	16	13	17	15	14	17	13	11	14	12	175	14.6
対象者数	33	31	33	24	30	29	28	29	33	27	31	34	362	30.2
派遣時間	83.0	82.5	98.0	70.5	77.0	85.5	89.0	92.0	128.5	64.5	95.5	123.0	1089.0	90.8

(1) 通訳派遣件数

① 年間 689件 昨年度比 92.9%（昨年度の派遣件数：741件）

② 月平均 57.4件

(2) 利用者数

① 年間 362名

② 月平均 30.2名 昨年度比 92.0%（昨年度 32.8名）

(3) 派遣時間

①月平均 90.8時間

(4) 派遣した通訳者

①月平均 14.6名

6. 派遣内容

集会・講演	5	冠婚・葬祭	1	学校・教育	37	介護	3
会議	10	司法・警察	7	育児・保育	5	その他	23
住宅・住居	6	医療・保健	512	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	6	職業・労働	41	手続き	33	合計	689

※派遣の内容は、「医療・保健」が7割強を占め、次いで「職業・労働」、「学校・教育」、「手続き」となりました。

7. まとめ

手話通訳者統一試験合格者はいなかったため3月31日現在の登録手話通訳者は41名です。

派遣については、利用者の希望に添い通訳者を選任していますが、通訳者に負担のかからないようコーディネートを行いました。利用者の高齢化も進み自宅での生活が多くなっています。できるだけ派遣を利用しながら社会参加が出来るよう配慮したいと思えます。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう呼びかけや通訳者等へマスク着用について利用者へ理解を求めました。

年々、相談も多くなっており、それに伴い専門的な相談もあります。通訳者の養成とも連携しながら技術面の向上を目指す研修の内容を検討します。

【要約筆記者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において要約筆記を必要とする際に、要約筆記者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として要約筆記者派遣を実施しました。

2. 登録要約筆記者研修会

期 日 2022（令和4）年10月23日（日）10：00～15：00

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「聴覚障害者と支援 心理学・心理支援の立場から」

参加者 8名

3. 登録手話通訳者・要約筆記者学習会

期 日 2023（令和5）年2月5日（日）10：00～12：30

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「コロナ禍の手話通訳者、要約筆記者の現状と課題、その対策」

参加者 3名

4. 運営委員会

期 日 2022（令和4）年7月1日（金）18：30～

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 2021（令和3）年度活動報告・収支決算について
2022（令和4）年度活動計画・収支予算について

出席者 16名

5. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	3	3	7	6	3	5	2	3	2	4	5	4	47	3.9
通訳者	2	2	4	5	3	5	2	2	2	3	5	3	38	3.2
対象者数	1	2	3	5	3	2	2	1	2	3	2	3	29	2.4
派遣時間	4.0	3.5	13.5	11.5	2.5	9.0	2.5	4.0	2.0	5.0	8.0	7.0	72.5	6.0

(1) 通訳派遣件数

① 年間 47件 昨年度比 94.0%（昨年度の派遣件数：50件）

② 月平均 3.9件

(2) 利用者数

③ 年間 29名

④ 月平均 2.4名 昨年度比 92.3%（昨年度 2.6名）

(3) 派遣時間

① 月平均 6.0時間

(4) 派遣した通訳者

① 月平均 3.2名

6. 派遣内容

集会・講演	7	冠婚・葬祭	0	学校・教育	0	介護	0
会議	11	司法・警察	0	育児・保育	0	その他	1
住宅・住居	0	医療・保健	25	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	0	職業・労働	2	手続	1	合計	47

※派遣の内容は、「医療・保健」が5割の25件、「会議」が11件、「集会」7件、「職業・労働」が2件、「手続」、「その他」がそれぞれ1件でした。

7. まとめ

要約筆記者統一試験合格者等1名で3月31日現在の登録要約筆記者は27名となっています。また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう席を1つずつ空けて座るなど利用者へ理解を求めました。

要約筆記の派遣件数はまだ少なく、難聴者自身が要約筆記を利用することをしません。

要約筆記が付くことでより情報が正確に伝わることを理解してほしいです。その為には、利用者の経験をお話する場を設けるなど、広報活動等を工夫したいです。

2. 手話奉仕員等養成事業実績報告

1. 目的

宮崎市手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 運営委員会設置

「宮崎市手話奉仕員等養成事業に関する運営委員会」を設置し、宮崎市における手話奉仕員等養成事業の効果的な運営を図った。

(1) 第1回運営委員会

期 日 令和4年10月28日(金)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 9名

(2) 第2回運営委員会

期 日 令和5年3月24日(金)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 9名

3. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

① 宮崎市総合福祉保健センター

② 宮崎市清武総合福祉センター

③ 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程(27時間) 基礎課程(33時間)

講義編 10時間

4. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

① 宮崎市総合福祉保健センター

② 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」

② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」

③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」

④ 講義編

- (3) 養成時間 120 時間
 実技編 手話通訳Ⅰ（48 時間） 手話通訳Ⅱ（45 時間） 手話通訳Ⅲ（15 時間）
 講義編 12 時間
- (4) 養成講師研修会
 講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につな
 げました。
- 【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会
 期 日 令和4年7月10日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（研修室）
 参加者数 15 名
- 【2】宮崎県手話講習会講師研修会
 期 日 令和4年6月12日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（研修室・試写室）
 Zoom を利用し、研修室をホストに試写室とつないで実施した。
 参加者数 30 名（研修室 18 名・試写室 12 名）
- (5) 現任手話通訳者研修会
 期 日 令和4年11月5日（土）
 会 場 県立聴覚障害者センター（試写室）
 参加者数 6 名
- 期 日 令和4年11月27日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（交流ホール）
 参加者数 20 名
- (6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会
- 【第1回】
 期 日 令和4年5月29日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（交流ホール）
 参加者数 8 名
- 【第2回】
 期 日 令和4年9月11日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（交流ホール）
 参加者数 27 名
- 【第3回】
 期 日 令和4年11月6日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（交流ホール）
 参加者数 25 名
- (7) 手話通訳者全国統一試験
 期 日 令和4年12月3日（土）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 受験者数 25 名
 合格者数 2 名 久保(中堂園)未夢（都城市） 岡本徳子（三股町）

(8) 手話通訳士試験

第33回(令和4年度)手話通訳技能認定試験 試験結果(令和5年1月31日発表)

宮崎県受験者 5人

合格者 合格者はいませんでした。

5. 手話通訳士養成講座

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、5月と9月に実施した。

期日	内容	参加人数
5月14日(土)	読み取り通訳試験対策①	7名
5月15日(日)	聞き取り通訳試験対策①	5名
9月17日(土)	読み取り通訳試験対策②	7名
9月25日(日)	聞き取り通訳試験対策②	3名

【宮崎市手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

会 場	奉仕員			通訳Ⅰ			通訳Ⅱ			通訳Ⅲ		
	受講 申込	修了 者数	令和 4年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和 4年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和 4年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和4 年度末 登録者 数
宮崎市総合福祉 保健センター	34	23	441	10	10	234	10	8	186	9	9	182
県立聴覚障害者 センター	20	16		9	7		8	6		4	4	
清武総合福祉 センター	12	12										
合計	66	51		19	17		18	14		13	13	

3 要約筆記者養成事業実績報告

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿い講座を実施しました。

【1】宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：前期）：県立聴覚障害者センター
期間 令和4年9月～令和5年3月

会場	受講申込者数		修了者数		令和4年度末登録者数	
	手書き	パソコン	手書き	パソコン	手書き	パソコン
県立聴覚障害者センター	13	16	0	0	7	4

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

（1）要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施した。

期 日 令和4年5月14日（土）、5月22日（日）、6月5日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター 研修室

（2）要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
5月14日（土）	共通の講義「要約筆記者講師のあり方」	10名
5月15日（日）	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	6名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	3名

（3）要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
9月 4日(日)	PCコース：全体投影実技指導	8名
	手書きコース：・ノートテイク実技指導	6名
11月19日(土)	《共通》難聴者が望む要約筆記者像とは	13名
11月20日(日)	手書きコース：ノートテイクの実技指導	9名
	PCコース：ノートテイクの実技指導	11名

(4) 要約筆記体験会

期 日 令和4年7月16日(土)

会 場 小林市社会福祉センター

参加者 PCコース 10名

期 日 令和4年7月23日(土)

会 場 宮崎県立聴覚障害者センター 交流ホール

参加者 PCコース 8名 手書き 14名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和5年1月29日(日)

会 場 宮崎県立聴覚障害者センター

参加者 PC 3名

【第2回】

期 日 令和5年2月12日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 1名 PC 3名

(6) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和5年2月19日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者 手書き：1名 パソコン：3名

合格者 手書き：1名 パソコン：0名

(7) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和4年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者1名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

4 手話ビデオ等作製事業実績報告

市広報紙の情報を手話ビデオ化することによって、情報が容易に得られるようにし、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の読解力及び情報不足を補う

	題 目	本数	分	取扱	複製数	備考
1	市広報「みやざき」手話ビデオ4月号(No.308)	1	49	納品	44	V5+D39
2	市広報「みやざき」手話ビデオ5月号(No.309)	1	47	納品	44	V5+D39
3	市広報「みやざき」手話ビデオ6月号(No.310)	1	43	納品	44	V5+D39
4	市広報「みやざき」手話ビデオ7月号(No.311)	1	47	納品	45	V5+D40
5	市広報「みやざき」手話ビデオ8月号(No.312)	1	46	納品	45	V5+D40
6	市広報「みやざき」手話ビデオ9月号(No.313)	1	52	納品	45	V5+D40
7	市広報「みやざき」手話ビデオ10月号(No.314)	1	44	納品	45	V5+D40
8	市広報「みやざき」手話ビデオ11月号(No.315)	1	47	納品	45	V5+D40
9	市広報「みやざき」手話ビデオ12月号(No.316)	1	46	納品	45	V5+D40
10	市広報「みやざき」手話ビデオ1月号(No.317)	1	40	納品	45	V5+D40
11	市広報「みやざき」手話ビデオ2月号(No.318)	1	44	納品	44	V5+D39
12	市広報「みやざき」手話ビデオ3月号(No.319)	1	35	納品	44	V5+D39
	合 計	12	540		535	

■貸出状況

取扱先(配布数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮崎市関係(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市社会福祉協議会(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市聴覚障害者協会(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立聴覚障害者センター(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※宮崎市関係取扱先(市障がい福祉課、佐土原総合支所、田野総合支所、高岡総合支所、清武総合支所、市立図書館、宮崎市立佐土原図書館、田野児童センター、穆園館、清武文化会館)

■送付状況

計	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28	27	27	331

■作製協力者数

計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

その他の取り組み

- ・毎月、出演者と手話表現に関する打合せを行った。

今後の課題

- ・完成が翌月に及んだときがあったので20日をめどに完成させたい。

5 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障がい者の福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳士を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の家庭及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もって福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

2. 対象者

宮崎市在住の聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者

3. 事業内容

手話通訳者は、聴覚障がい者等に対する手話通訳業務を主とする、次に掲げる業務を行った。

- (1) 手話通訳者設置場所における、聴覚障がい者等に対する手話通訳業務
- (2) 聴覚障がい者等に対する簡易な相談支援業務
- (3) 聴覚障がい者等に対する簡易な生活支援業務
- (4) 聴覚障がい者等の更生援護についての相談等に関し、その要件の主旨を援護機関に伝達するための仲介業務
- (5) 日常生活上における聴覚障がい者等の援護に関する相談、指導等に関し、宮崎市期間相談センター及び宮崎市社会福祉協議会（以下「関係機関」という。）からの要請に基づく手話通訳業務
- (6) その他市民に向けた情報発信に係る手話通訳業務
（設置場所）
宮崎市役所又は受託事業所内

4. 実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	0	0	1	0	2	3	1	2	0	1	0	0	10
2 手続き	5	11	8	11	23	16	9	5	6	8	10	15	127
3 縁談・結婚	19	21	17	12	20	13	26	15	18	12	19	22	214
4 家族関係	3	4	2	2	4	3	1	2	1	2	4	0	28
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 住宅・住居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 保健・医療	3	3	1	3	1	3	3	3	11	7	7	3	48
9 集会	2	1	2	1	1	1	1	1	1	3	3	3	20
10 選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
11 警察	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12 裁判	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	5
13 会議	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4
14 講習会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 その他	19	15	17	18	16	14	6	7	6	11	5	13	147
計	51	55	50	47	68	55	51	36	44	44	48	56	605

令和4年度市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

県内26市町村のうち18市町村(4市11町3村)と「手話通訳者等及び要約筆記者派遣事業」の委託契約

市町村名		年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
宮崎市	手話	令和4年度		58	55	55	49	54	50	53	60	79	46	61	69	689		
		令和3年度		61	55	82	87	59	56	69	62	60	60	37	58	55	741	
	要約	令和4年度		3	3	7	6	3	5	2	3	2	4	5	4	4	47	
		令和3年度		3	2	3	11	5	2	4	4	4	3	1	5	7	50	
西都市	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		令和3年度		1	1	2	4	2	0	0	0	0	1	2	2	1	16	
日南市	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
串間市	手話	令和4年度		1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	6		
		令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西諸県郡	高原町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東諸県郡	国富町	要約	令和4年度		1	1	1	2	0	1	1	1	1	0	3	2	14	
			令和3年度		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14
		手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	綾町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
児湯郡	高鍋町	手話	令和4年度		0	0	0	3	1	4	2	4	2	0	2	1	19	
			令和3年度		0	0	2	1	3	2	0	2	1	2	1	1	15	
		要約	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新富町	手話	令和4年度		0	2	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	8	
			令和3年度		0	0	6	2	0	0	0	0	1	0	3	0	0	12
	西米良村	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都農町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵郡	美郷町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	椎葉村	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	諸塚村	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西臼杵郡	高千穂町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日之影町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五ヶ瀬町	手話	令和4年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	手話	令和4年度		59	57	55	52	55	54	55	65	86	51	63	71	723		
		令和3年度		62	56	92	94	64	59	70	65	63	44	61	57	787		
	要約	令和4年度		4	4	8	8	3	6	3	4	3	4	8	6	61		
		令和3年度		5	3	4	12	6	3	5	5	4	2	6	9	64		
合計	手話・要約	令和4年度		63	61	63	60	58	60	58	69	89	55	71	77	784		
		令和3年度		67	59	96	106	70	62	75	70	67	46	67	66	851		

当協会と契約外の市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	
延岡市	手話	令和4年度	265	日向市	手話	令和4年度	208	えびの市		手話	令和4年度	159
		令和3年度	256			令和3年度	236				令和3年度	109
	要約	令和4年度	14		要約	令和4年度	1	北諸県郡	三股町	手話	令和4年度	3
		令和3年度	18			令和3年度	8				令和3年度	2
都城市	手話	令和4年度	311	小林市	手話	令和4年度	119	東臼杵郡	門川町	手話	令和4年度	3
		令和3年度	362			令和3年度	103				令和3年度	2
	要約	令和4年度	3		要約	令和4年度	1	児湯郡	川南町	手話	令和4年度	0
		令和3年度	0			令和3年度	0				令和3年度	0

市町村手話奉仕員養成事業実績報告

1. 目的

市町村において下記の内容で手話奉仕員の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

(1) 実施会場及び実績

別表1

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 手話体験会

手話講習会を実施できない市町村においてオンラインまたは対面により体験会を開き手話の普及に努めました。

2. 市町村手話奉仕員養成事業及び手話通訳者養成講座実績 別表1

町村		実施日	手話講習会 修了者数	実施方法
五ヶ瀬町		12月27日(火) 10:00-11:30		オンライン
高千穂	高千穂町 中央公民館	毎週水曜日	1	
		20:00-21:30		
日之影町		2月8日(水) 10:00-11:30		オンライン
美郷町		1月11日(水) 10:00-11:30		オンライン
諸塚村		3月8日(水) 18:00-19:30		オンライン
		3月9日(木) 18:00-19:30		オンライン
椎葉村		12月24日(土) 10:00-11:30		オンライン
		2月8日(水) 10:00-11:30		オンライン
川南町	川南町老人会館	毎週水曜日	0	
		19:30-21:00		
新富町	新富町 総合交流センター	毎週火曜日	0	
		19:30-21:30		
木城町	木城町 福祉センター	毎週木曜日	1	
		19:30-21:30		
高鍋町	高鍋老人福祉会 館	毎週火曜	0	
		19:30-21:00		
西米良 村	西米良村保健 センター	3月18日(土) 10:00-11:30		対面
		3月18日(土) 13:30-15:00		
国富町	国富町農村環境 改善センター	2月10日(金) 19:00-20:30		対面
		2月17日(金) 19:00-20:30		
綾町	綾町教育委員会 2階会議室	1月20日(金) 19:00-20:30		対面
		1月27日(金) 19:00-20:30		
日南市	日南南別館 ボランティア室	毎週水曜日	6	
		19:00-21:00		
えびの 市	えびの市 文化センター	毎週火曜日	5	
		19:30-21:00		
合計			13	

通訳者派遣事業実績報告書

企業・団体等からの依頼による手話通訳者・要約筆記者の派遣実績

1. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話通訳	13	11	15	11	21	13	20	15	13	14	16	12	174
活動人数	19	18	23	18	38	22	34	23	30	20	28	19	292
派遣時間	26.0	25.5	30.5	21.0	47.3	32.7	50.1	41.9	35.3	26.1	25.8	26.3	388.5
要約筆記	1	1					3	1	1			2	9
活動人数	2	4					6	2	2			6	22
派遣時間	2	3.5					11.7	2	4.6			4.5	28.3
合計	14	12	15	11	21	13	23	16	14	14	16	14	183
キャンセル		1	1	2	1	1	1			1	1		9

2. 派遣内容

項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計
集会・講演	113	司法・警察	2	冠婚・葬祭	2	その他	6
会 議	11	医療・保健	31	育児・保育	0		
住宅・住居	0	職業・労働	13	家族関係	4		
入 館 - ツ リイェツ	0	学校・教育	0	手 続	1	合 計	183

3. 知事会見、宮崎市長会見へ派遣しました。

No.	内 容	人数	備考
1	知事定例記者会見（13回）	26名	手話通訳者 26名
2	知事緊急記者会見（27回）	52名	手話通訳者 52名
4	宮崎市長定例記者会見（12回）	12名	手話通訳者 12名
5	宮崎市長緊急記者会見（6回）	8名	手話通訳者 8名
合 計		98名	

2022（令和4）年度 第17回全国手話検定試験事業（自主事業）

1、全国手話検定試験面接委員研修（集団リモート形式）

(1) 宮崎会場

- ・日 時 8月7日（日）9：20～17：20
- ・会 場 県立聴覚障害者センター
- ・参加者数 12名

(2) 都城会場

- ・日 時 8月7日（日）9：20～14：30
- ・会 場 都城市総合社会福祉センター
- ・参加者数 6名

(3) 宮崎会場

- ・日 時 9月3日（土）9：15～16：35
- ・会 場 県立聴覚障害者センター
- ・参加者数 5名

2、第17回全国手話検定試験説明会（zoom ミーティング）

- ・日 時 8月30日（木）13：30～15：00
- ・参加者 中玉利辰美 吉岡亜紀子 藤田智恵子

3、全国手話検定試験説明会（面接委員・要員）

(1) 宮崎会場

- ・日 時 9月25日（日）13：30～
- ・会 場 県立聴覚障害者センター（宮崎会場）
- ・参加者数 24名

(2) 延岡会場

- ・永井 恵 氏にお願いした。

(3) 都城会場

- ・田村 泉 氏にお願いした。

4、全国手話検定試験学習会（中止）

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、個別対応した。

5、第17回全国手話検定試験

会場	県立聴覚障害者センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月8日(土)		10月9日(日)		10月15日(土)		
申込数	27	22	22	19	4	10	104
受験者数	25	22	21	18	4	9	99
合格者数	25	22	15	17	2	9	90

会場	延岡市社会福祉センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月8日(土)		10月9日(日)		10月15日(土)		
申込数	6	7					13
受験者数	4	6					10
合格者数	4	6					10

会場	都城市総合社会福祉センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月8日(土)		10月9日(日)		10月15日(土)		
申込数	12	6	18	3			39
受験者数	12	6	15	3			36
合格者数	12	6	13	3			34

6、「インターネットで受験する」第17回全国手話検定試験への協力・実施

(1) ZOOMの取り扱い説明

担当者に説明資料を渡し、個別に対応した。

(2) 実施結果

会場	県立聴覚障害者センター			
級	準1級	1級	3級	計
期日	2月11日(土・祝)	2月19日(日)	2月23日(木・祝)	
申込数	20	20	20	60
受験者数	19	17	17	53

2022（令和4）年度 図書販売等事業報告

1) 目的

聴覚障害者、手話通訳者、手話学習者等に手話や聴覚障害についてより理解していただくために、全日本ろうあ連盟及び全国手話研修センターが発行している手話イラストやDVD等で構成された図書等の販売及び情報提供を行った。

2) 販売結果

2022年度の図書等の仕入・販売金額については下記のとおり。コロナ禍の中でも三密に注意しての活動再開の動きが広がったことで、復調の動きが出てきている。

総販売数は1,086冊となり、2021年度の689冊から大きく増加した。ただしコロナ禍以前、2019年度の1,377冊にはまだ届いていない。

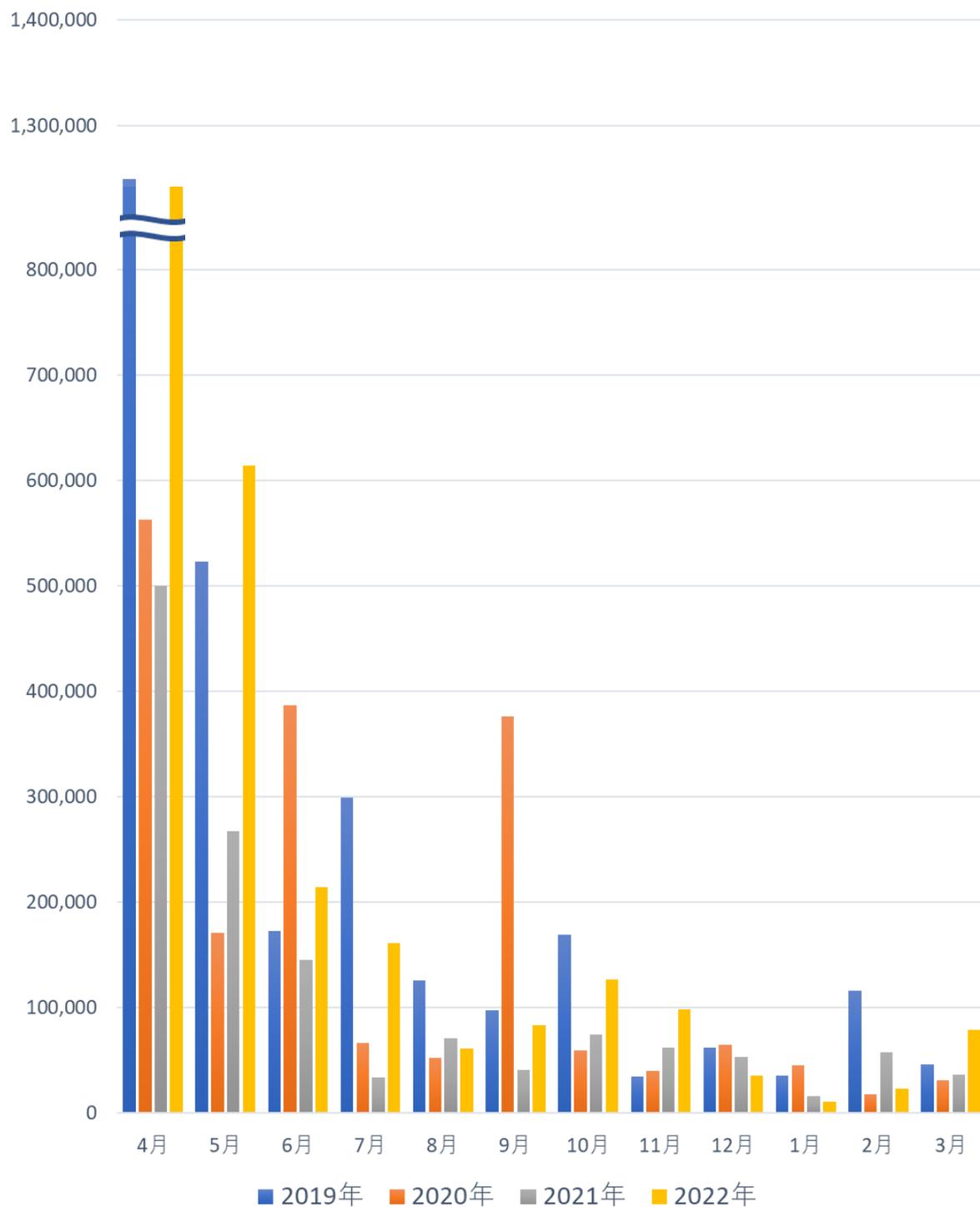
3) 課題

2022年度は2021年度と比較して、収益実績が復調してきている。2023年度の手話奉仕員養成講座等の各種テキストの申し込みは5月14日時点で834冊（専門学校等含む）あり、2021年度の603冊から、さらに231冊増加している。コロナ禍の影響に注意しつつ、オンライン手話講習会等の新たな取り組み、様々な機会における書籍等の紹介を積極的に行っていくことが求められる。

2022年度 月別仕入・販売金額表（図書送料は除く）

	仕 入		販 売	
	数量（冊）	金額（円）	数量（冊）	金額（円）
4月	632	1,198,391	406	890,855
5月	63	96,375	277	614,236
6月	158	302,217	89	214,246
7月	21	52,670	73	161,473
8月	0	0	21	60,830
9月	67	79,466	39	83,496
10月	51	93,326	53	127,064
11月	60	74,966	42	98,241
12月	25	19,000	26	35,116
1月	20	14,860	4	10,630
2月	25	54,828	13	23,331
3月	25	19,000	43	79,135
合計	1,147	2,005,099	1,086	2,398,653

年度別図書販売実績（円）



4月～6月の販売実績は2019年を上回っているが、それ以降の販売実績が少なく、最終的に2019年度より販売実績が少なくなっている。手話講習会だけではなく、手話フェスティバル等の様々な機会における書籍等の紹介、販売を積極的に行っていくことで、さらなる収益増加に努めていく。

2022年度苦情解決体制の整備に伴う「第三者委員」の報告

2022年度における社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会及び県立聴覚障害者センター運営等に関する苦情の受付は1件（6項目）ありました。

当協会が社会福祉法人となってから、第三者委員を通じた苦情が行われた事例はこれが初めてとなります。中には苦情申出人から直接意見、苦情が出されていたものも含まれています。利用者の皆さんにとっての不満が放置されていると取られたことが、第三者委員への苦情となったものと重く受け止めています。

いまだ根本的な解決につながっていないものがほとんどであり、まず人材問題、マンパワー不足の課題解決に早急に取り組んでいかなければなりません。そのための理事長としての責任は非常に重いと感じています。

早急にこれらの課題が解決につながっていくよう努めなければなりません。

センターを通常、来所、ご利用いただいている皆さんに対しては年に1回満足度調査を実施し、いただいたご意見に対して出来る範囲で対応しているところです。

今後も適切な福祉サービスの充実に努めていきます。

2023年3月31日

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
理事長 堀田 享志